

令和6年度 第1回 立川市スポーツ推進審議会 会議録

(基本情報)

会議名称	令和6年度 第1回 立川市スポーツ推進審議会
開催日時	令和6年7月8日(月曜日) 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	立川市泉市民体育館 研修室
次第	<p>1 開会 (1) 辞令伝達</p> <p>2 報告・協議 (1) 第3次スポーツ推進計画策定のためのアンケート調査について(速報版) (2) 第3次スポーツ推進計画策定に向けた提言について</p> <p>3 その他</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1 令和6年度審議会委員名簿 ・資料 1-2 令和5年度 第3回スポーツ推進審議会議事録 ・資料 2-1 立川市民のスポーツに関する意識調査 集計(速報) ・資料 2-2 立川市民のスポーツに関する意識調査 その他等記述まとめ ・資料 2-3 第3次スポーツ推進計画(仮称)に向けた小中学生の意識調査集計(速報) ・資料 2-4 第3次スポーツ推進計画(仮称)に向けた小中学生の意識調査その他等記述まとめ ・資料 3 第3次スポーツ推進計画策定に向けた提言(案) ・資料 4 プロスポーツとの連携について ・参考資料 1 第5次基本構想審査特別委員会資料「第5次基本構想 素案概略」 ・参考資料 2 第5次基本構想審査特別委員会資料「第5次基本構想 前期基本計画骨子案」 ・参考資料 3 第2次スポーツ推進計画時のアンケート結果(抜粋)
出席者	<p>[委員] 原田 尚幸、芦澤 清八、松原 幸子、山口 聡、永島 康雄、小川 祐太郎、原 宏樹、角田 康行、出倉 光一、竹内 涼子</p> <p>[事務局] 井上 隆一(産業文化スポーツ部長)、中村 達也(スポーツ振興課長)、上野 聖(管理係長)、木村 誠(スポーツ振興係長)、秋元 公貴(体育施設整備等担当係長)、野毛 大揮(スポーツ振興係)</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
担当	産業文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興係 電話 042-529-8515

1 開会

(1) 辞令伝達

- ・新任委員挨拶

2 報告・協議

(1) 第3次スポーツ推進計画策定のためのアンケート調査について（速報版）

- ・事務局から資料2-1～2-4に基づき説明
- ・(資料2-1) 4ページQ8の選択肢4のウォーキングとは、買い物などで出歩く事も含まれるのか。
⇒問の意図としては、選択肢1の「通勤の自転車や散歩等日常生活の中での運動」として回答して欲しいところではあるが、選択肢4でご回答いただいている方がいる可能性も否定できない。

(2) 第3次スポーツ推進計画策定に向けた提言について

- ・事務局から資料1-2、資料3、参考資料1、参考資料2に基づき説明

○(資料3)裏面基本理念(たたき台)について(各委員より発言)

- ・「ワクワクしながらスポーツを楽しめる」というのは、基本理念としてはまさにその通りだと思う。アンケートの結果からもわかる通り、小学生から70代まで幅広い年齢層が「機会があればスポーツに取り組みたい」と回答されている。年代によって様々なスポーツで「ワクワク」し、いくつになってもスポーツを「楽しめる」といったフレーズを基本理念に組み込みたい。
- ・「ワクワク」というキーワードをぜひ使用したい。あまり長く書くよりは、短く分かりやすいキャッチフレーズにしたい。
- ・3番目はキャッチフレーズとしては長く不向きではないか。4番目は、「いろいろな」と言いつつ「わ(和・輪)」の漢字が2つなのが気になる。5番目の「わ」を「WA(英字)」にした意図としては何が挙げられるのか。
⇒ひらがな、カタカナ、漢字、そして英字のWAと、色々な「わ」が加わる様子を表している。
- ・「ワクワク」や「わ」というのは、子ども達にとっても分かりやすく好印象。キャッチフレーズ(基本理念)は幅広い年代すべてに分かりやすいという点が大切だと思う。
- ・3番目は「する」「みる」「ささえる」と具体的なフレーズが組み込まれていて良いと思ったが、指摘のあった通りやや長く感じる。4番目について、最後を「～広がり集うまち立川」と、新たなキーワードとして「集う」を組み入れてもいいと思う。
- ・「誰もがスポーツでわくわくする」というフレーズが良いと思う。障害がある人もない人も「誰もが」一緒にスポーツを楽しめるという点が重要だと考える。
- ・「ワクワク」と「わ(輪・和)」が良いと思う。「輪」は、たちかわ競輪を連想される漢字であると同時に、人々の繋がりも表わしている。アンケートを拝見すると、身近なスポーツとしてウォーキングが多く挙げられていたが、「わくわくウォーキング」等の関連アプリを作るなど、基本理念をそのまま具体的な施策へ結びつけられるような仕掛けがあると面白いと思う。また、「誰もが」というフレーズを採用することで立川市の全員で取り組もうという意識醸成に繋がるのではないかと考える。
- ・立川の特徴として、プロスポーツが複数チームある点から、裾野が広がっていくといいなと思うため、「広がる」というフレーズを使用したい。また、「わ(和・輪)」というキーワードが良いと思うため、2番目や5番目の案がいいと思う。さらに言えば、キャッチフレーズなので、短い5番目の案の雰囲気が良いと感じる。
- ・「WAKUWAKU」と、「たちかWA」というキーワードを使用し、「ワクワク」と「わ」をアルファベットにすることで、それぞれが繋がるという意味合いを持たせるのがいいと思う。
- ・「誰もが」は固い印象を受ける。代わりに、「みんなで」といったキーワードを提案したい。「ワ」

をカタカナにすることで、笑った顔のようにも表すのも良いかなと思う。「みんなでわくわく、スポーツのワ！！立川」といった案を提案したい。提示されているどの案も人間の「わ」ができてイメージだが、スポーツの「ワ」があり、そのひとつひとつのスポーツに、人間の「わ」がつくられていくイメージ。

⇒（事務局）基本理念のキーワードを選別する中で、基本理念がどのような目的を持つのか、といった部分も表現していきたい。会長からお話があった通り、キャッチフレーズを具体的に補完する文章を入れることで、基本理念がより明確化すると思う。本日はキャッチフレーズのおおよその方向性をお示しいただければ改めて事務局で整理していく。

- ・「ワクワク」というフレーズについて、本当によいフレーズだと思う。参考資料1の第5次基本構想の中にも冒頭に「ワクワク」というフレーズが登場しており、関連性が見受けられる。
- ・昨年度の第1回目の会議の際に、年1回の成人の運動・スポーツ実施率70パーセントという目標が出てきたが、例えば年に1回スポーツでワクワクする人が70パーセントであれば、具体的に目指す方向性が出てくる。「する」スポーツでワクワクなのか、「みる」スポーツでワクワクなのか、「支える」スポーツで誰かに感謝される、あるいはその場面に関わり、自分が立ち会うことで、自分自身がワクワクしたいなど、様々な心の動きが拾えるのかなというところ。
- ・先程笑顔のマークといったご提案があったが、人がワクワクしたときは、笑っているようなイメージがあり、キーワードの中でいうと、幸せ、楽しむ、あるいは喜びといったところにも本質的に繋がってくる。
- ・スポーツの輪が広がった結果どうなっていくのが、「ワクワク」という言葉で表現されるような気がしている。
- ・「わ」という言葉についても、ひらがな、漢字、カタカナ、ローマ字表記と様々なご提案をいただいたが、基本的に反対のご意見は無かったかと思う。
- ・「ワクワク」、「わ（和・輪）」、「誰もが」というフレーズを踏まえてシンプルにまとめていければと考えている。
- ・頂戴した意見はあくまでキャッチフレーズのため、これまでの議論の背景を踏まえて、基本理念として文章化していくことになる。
- ・「スポーツ」という言葉の中に「する」「みる」「ささえる」の要素は当然入っており、「誰もが」という言葉は、性別、年齢、障害の有無に関係なく、望めばその環境を用意するという意味合いで、ただスポーツをするだけではなく、みんなが「ワクワク」する話なのか、という点を常に念頭に置いていただければ、おそらくオリジナリティのある立川らしい方向性が出てくると考えている。
- ・最後の文章表現が、「立川」で終わるのか、「わ」で締めくくるのかで印象が違うため、再度検討していただきたい。
- ・「誰もが」という表現では、参加しているひとりひとりに焦点を当てて可能対象とする単独感が強いので、「みんな」という表現を使用し、仲間感・集団的なイメージや捉え方ができる言い回しを検討して欲しい。

⇒（事務局）委員の皆様のご意見を踏まえ、次回の審議会で最終的な基本理念をお示しさせていただく。また、計画の骨子案について、併せてご意見を伺えればと思う。

- ・基本理念が定まり、それに従って様々な具体的な部分が今後決まっていくこととなる。基本方針のたたき台にも「わくわく」という言葉が入ってくるだろう。事務局で集約し、次回に具体的に決めていく流れとさせていただく。協議事項は以上。

3 その他

(1) プロスポーツ団体との連携について

- ・事務局から資料4に基づき説明

(2) 委員からの情報提供

- ・資料に基づきインディアカについての情報提供
 - ・ウォーキングのイベントについて情報提供
 - ・東京ヴェルディの地域貢献活動について情報提供
 - ・プロスポーツチームの課題や今後の抱負について情報提供
 - ・健康支え隊の活動（健康ポイント・立川のウォーキングマップ）について情報提供
- ・（事務局）次回は10月の開催を予定している。改めて日程調整のご連絡をさせていただく。

閉会